



米山台保育園
調理員
金子・竹内記

5日〈つばめ組〉スイートポテト作り

10月22日に総合高校まで歩いて収穫に行ったさつまいもを、甘くなるよう晴れた日は外に干し、スイートポテト作りを楽しみにしていた子どもたち。部屋にスイートポテトの生地を持っていくと、椅子に座って静かに待っていましたが、「甘い、いい匂いがする～」と、鼻をピクピクと動かしていました。



一つ分の生地の上にラップを乗せ、ラップの端を両側から引っ張り、小さいさつまいものような形を作ります。「みんなが掘った時のさつまいもを思い出してね」というと、「でこぼこで大きかったよ」「小さいのもあったよね」と、いろいろな形のスイートポテトが出来上がりました。



最後に、形作ったおいもを片手で持ち、テーブルの上に出した黒ゴマをくっつけます。「1回ポンっとくっつけるだけで、ちょうどいい量がつくよ」と伝え、「スタンプポンッ!」と言いながら、リズムよく黒ゴマつけをしていました。

待ちに待ったおやつの時間! スイートポテトはねっとり甘くて、あっという間に食べ終わってしまいました。



11日 焼き芋の準備

つばめ・ひばり組が、濡れた新聞紙とアルミホイルでさつまいもを包みました。午後から雨が降ってしまい外で食べることはできませんでしたが、地域の方々とホールで焼き芋をおいしくいただきました。



17日〈ひばり組〉スケーパーでりんご切り

食育活動で『食材を切る』という体験が初めてのひばり組。スケーパーを見せて「これでりんごを切ります」と伝え、ちょっと緊張した表情になりましたが、先生が指で触って切れないことを見せ、「パン作りで生地を切ったりする道具だよ」と伝え、ホッとした様子でした。



りんごを4等分に切って見せると、みんな同じように均等に切ることができました。気付けば部屋の中はりんごの匂いでいっぱい、子どもたちは切った後の手をジーンと見つめて、食べたい気持ちをぐっと我慢していました。



給食室に戻ってきたりんごを見ると、どれも大きさが揃っていて4等分が難しくて2等分にしたのかな？と思い聞いてみると、4等分に切ったあるとのこと！機械で切ったかのように正確で、初めてとは思えない出来でした。



ひばり組が切ったりんごは、甘酸っぱいジャムになり、おやつの時間クラッカーに乗せて食べました。ジャムを自分で乗せて食べることも、楽しかったようです。



シャカシャカ振るの
楽し〜い！

20日 シャカシャカおにぎり作り

JAがお米の消費拡大を目指して実施しているシャカシャカおにぎり作りを、3～5歳児が行いました。柏崎産の新米を使って自分たちで作ったおにぎりは、おいしいのはもちろん、コップを振るとご飯が丸いおにぎりになるのが楽しく、手と一緒に体をフリフリしている子もいました。各家庭にも「しゃかしゃかおにぎりの作り方」を配布しました。新米の季節、子どもと一緒にご飯について話してみるのも、いいかもしれませんね。

